

**使い続ける重要文化財
東京駅の保存・
復原・活用を考える**

日比谷カレッジ
HIBIYA COLLEGE

日時 2017年 3月 2日(木) 19:00~20:45(18:30開場)
会場 日比谷図書館 地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
参加費 1,000円 定員 200名(事前申込順、定員に達し次第締切)

講師 **田原 幸夫** (京成工業専門学校 特任教授)
1949年長野県生まれ、1975年3月京都大学卒業、1976年4月日本設計事務所(現・日本設計)入社。1983年専任講師、1987年専任講師のポストに就任。ル・ブルジョア建築の大学で専攻、建築専攻専門課程に入学の専攻生、ユネスコ世界遺産「フジサンケイグループ」の保存活用設計に関与。2003年11月シニアフェロー、東京建築設計事務所入社、丸の内プロジェクト専任。2007年5月~2012年10月、東京駅丸の内駅舎保存活用設計監理室 設計監理部長。2014年4月~京成工業専門学校 特任教授。
著書に『世界遺産・フジサンケイグループの「モノ・モノ」』(彰文社・2002年)、『建築の復興プロジェクト(京成工業専門学校)』(日経建築編集局編、日経出版・2014年)、『東京駅丸の内駅舎保存・復原の経緯』(講談社・2014年)等がある。

かつては展示物のように保護されるだけであった重要文化財も、いまや“生きた建築”として、現代の日常生活に積極的に活用されるようになってきました。そのなかでも東京駅丸の内駅舎は、駅やホテル・美術館として日々100万人近い人々が利用する“使い続ける重要文化財”の代表です。1914年の竣工以来、第2次大戦による被災など多くの試練を経ながらも、2012年10月には多くの人々の努力により、見事に創建時の姿に復原されました。10年を超える大事業となった東京駅丸の内駅舎保存活用プロジェクトの全容を振り返り、現代の日本における歴史的建築物の保存活用について考えます。

お申し込み方法
電話(03-3502-3340)
Eメール(hibiyal@hibiyal.jp)
一太郎(簡易申込) いずれかにて
①講座名をお名前(よみかた)とお電話番号までご連絡ください。
②小学生以下のお子様がお申し込みされる場合、保護者の同意が必要です。(両者様の方にも参加費が必要です)

千代田区立 日比谷図書館
千代田区本町4丁目(地下1階、土曜休館)
東京三田線 内幸町駅 徒歩5分
東京丸の内線 日比谷駅(有り)徒歩5分
日比谷駅 徒歩5分
千代田線 浅草橋駅 徒歩5分
日比谷駅 徒歩5分
日比谷公園 徒歩10分



三菱一号館の復元～
蘇った明治期の煉瓦
造オフィスビル～



丸の内の「まちづくり」の変遷 ～
丁倫敦から東京駅前
再開発ま...



イベント 終了しました

使い続ける重要文化財 – 東京駅の保存・復原・活用を考える –

キーワード	日比谷カレッジ
内容	<p>歴史的建築物は都市に風格を与え、人々の生活を豊かに彩ります。</p> <p>かつては展示物のように保護されるだけであった重要文化財も、いまや“生きた建築”として、現代の日常生活に積極的に活用されるようになりました。</p> <p>そのなかでも東京駅丸の内駅舎は、駅やホテル・美術館として日々100万人近い人々が利用する“使い続ける重要文化財”の代表です。</p> <p>1914年の竣工以来、第2次大戦による被災など多くの試練を経ながらも、2012年10月には多くの人々の努力により、見事に創建時の姿に復原されました。</p> <p>10年を超える大事業となった東京駅丸の内駅舎保存</p>

	復原プロジェクトの全容を振り返り、現代の日本における歴史的建築物の保存活用の意味を考えます。
日にち	2017年03月02日（木） 19:00から20:45
日にち説明	18:30開場
場所	地下1階 日比谷コンベンションホール（大ホール）
関連ファイル	講座ポスター
発信者	千代田区立日比谷図書文化館
定員	200名（事前申込順）
参加費用	1,000円
講師・出演者	田原幸夫
プロフィール	<p>■田原 幸夫（たはら ゆきお） 1949年長野県生まれ 1975年3月京都大学卒業 1975年4月日本設計事務所（現・日本設計）入社 1983年9月ベルギー政府のフェローとして渡欧 ルーヴァン・カトリック大学大学院・保存修復専門 課程にてディプロマ取得 ユネスコ世界遺産「グラン・ベギナージュ」の保存 活用設計に携わる 2003年11月 ジェイアール東日本建築設計事務所入 社 丸の内プロジェクト室長 2007年5月～2012年10月 東京駅丸の内駅舎保存 復原設計監理室・設計監理総括 2014年4月～京都工芸繊維大学大学院特任教授</p> <p>著書 『世界遺産・フランダースのベギナージュ』（彰国 社・2002年） 『建築の保存デザイン』（学芸出版社・2003年） 『近代建築を使い続けるためのデザイン—東京駅丸 の内駅舎保存・復原の記録』（共著・彰国社・2014 年）、他</p> <p>受賞 日本イコモス賞、日本建築家協会賞、日本建築学会 賞（業績）、BCS賞、 鉄道建築賞、他</p> <p>保存に関する社会的活動 国際記念物遺跡会議（ICOMOS）会員 DOCOMOMO/Japan 幹事 他</p>

主催	千代田区立日比谷図書文化館
協力	NPO法人 建築から社会に貢献する会
問い合わせ先	千代田区立日比谷図書文化館 (03-3502-3340)
申込期間	2016年12月25日 10:00 から2017年03月02日 19:00
申込方法	電話 (03-3502-3340) 、Eメール (college@hibiyal.jp) 、来館 (1階受付) いずれかにて、①講座名 (または講演会名) 、②お名前 (よみがな) 、③お電話番号をご連絡ください。
関連リンク	NPO法人 建築から社会に貢献する会ホームページ 国立大学法人 京都工芸繊維大学

カレンダー表示 <input type="checkbox"/> イベント開催日 <input type="checkbox"/> 休館日	2017年 03月						
	日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4	
	5	6	7	8	9	10	11
	12	13	14	15	16	17	18
	19	20	21	22	23	24	25
	26	27	28	29	30	31	

発信日	2016.12.25
-----	------------

[ツイート](#)